

令和 8 年 1 月 21 日

市 民 環 境 部

ネイチャーポジティブ宣言から約 1 年
唐津市のネイチャーポジティブが加速
～株式会社みずほフィナンシャルグループとともに自然資本の増進を図
る「ネイチャークレジット」の社会実装にむけた実証研究を開始～

唐津市は、唐津市ネイチャーポジティブ宣言から約 1 年を迎え、自然環境の保全と地域経済の成長を両立させる取り組みを本格的な実装段階へと進めています。

この一環として、株式会社みずほフィナンシャルグループと連携し、自然資本の価値を金融に結びつける「ネイチャークレジット」の社会実装に向け、「唐津ネイチャーファイナンス研究会」を設立します。本研究会には、東北大学、富士通株式会社、日本生命保険相互会社、株式会社 BLUABLE、合同会社シーベジタブル、株式会社シンク・ネイチャーが参画し、唐津市の豊かな自然を実証フィールドとして、環境価値の評価・取引手法の検討および実証を進めます。

産・学・官・金の連携を通じ、自然と経済の両立を地域から実装する先進モデルの構築を目指します。

1 設立式日時

1 月 28 日（水） 14 時 20 分から

2 場 所

市役所本庁 3 階 災害対策本部

3 出席者

株式会社みずほ銀行

常務執行役員 ^{くらし た} 倉下 ^{せい き} 清貴様

東北大学 ^{シーオーアイー ネ ク ス ト} COI-NEXT ネイチャーポジティブ発展社会実現拠点

拠点長 ^{こんどう みちお} 近藤 倫生 様

東北大学 ^{シーオーアイー ネ ク ス ト} COI-NEXT ネイチャーポジティブ発展社会実現拠点

副拠点長 ^{ふじ た かおり} 藤田 香 様

^{ブル ア ブ ル}
株式会社BLUABLE

代表取締役社長 ^{うおたに たかひで} 魚谷 貴秀 様
日本生命保険相互会社（オンライン参加）
株式会社 シンクネイチャー（オンライン参加）
富士通株式会社（オンライン参加）

4 対応者

中西副市長、市民環境部長

本件の問い合わせ先
市民環境部 環境課
担当：中江、檜崎
電話：直通 72-9175（内線 2054）

ネイチャークレジット※の社会実装に向けて 「唐津ネイチャーファイナンス研究会」を設立します

- 式日時 令和8年1月28日(水) 14時20分から
- 場 所 唐津市役所本庁3階 災害対策本部（佐賀県唐津市西城内1-1）

■ネイチャーポジティブ宣言後からの主なアクションについて

佐賀県唐津市は、2025年3月に「唐津市ネイチャーポジティブ宣言」を表明して以降、地域の実践と科学的知見を往復させながら、里海・里山・里地といった自然資本を活かした持続可能な地域づくりを加速させてきました。

その取り組みの一環として、2025年7月には東北大学大学院生命科学研究科と連携協定を締結し、環境DNA調査等も視野に入れながら、自然資本の価値を可視化し、自然と調和した地域経済社会モデルの構築に向けた協働を進めています。

また、2025年9月には2025大阪・関西万博「BLUE OCEAN DOME」にて、唐津の取り組みを次世代の学びとともに発表し、地域発のネイチャーポジティブの実践を国内外へ発信しました。

同月、唐津市と佐賀玄海漁業協同組合による藻場保全の取り組みが、自然共生サイトに関する「連携増進実施計画」として国の認定を受けるなど、自然資本の価値を“地域の資産”として捉え直す動きも具体化しています。

こうした流れの中、2025年11月に環境省が公表した「気候変動アクション環境大臣表彰」において、唐津市鎮西町の漁師・袈裟丸彰蔵さんが、最高賞にあたる「気候変動アクション大賞」の受賞者として選出されました。

現場の挑戦が着実に成果として認められつつある今、自然資本を地域の価値として評価し、次の行動につなげる動きが、唐津から各地へと広がり始めています。

※ネイチャークレジット…

ネイチャークレジットとは、森林、湿地、海洋、草原などの自然環境を保全・再生することによって得られる生態系の価値を定量化し、第三者が認証したうえで取引可能な「クレジット」として扱う仕組みである。具体的には、森林の保全による生物多様性の維持、湿地の再生による水質浄化や洪水防止、サンゴ礁の回復による海洋生態系の改善など、人間の活動によって損なわれがちな自然を回復・維持する取り組みが対象となる。これらの成果を科学的指標や評価手法に基づいて可視化し、一定の基準を満たした場合にネイチャークレジットとして発行するもの。

企業や自治体は、このネイチャークレジットを購入・活用することで、自らの事業活動が自然環境に与える影響を補完(オフセット)したり、生物多様性保全への貢献を対外的に示したりすることができる。また、クレジットの購入資金は地域の自然保全活動や再生活動に還元されるため、環境保護と地域経済の両立を図る仕組みとしても期待されている。ネイチャークレジットは、脱炭素を目的とするカーボンクレジットを補完し、「自然全体の価値」を経済システムに組み込む新しい手法として、近年国際的に注目を集めている。

2026 年 1 月 21 日

佐賀県唐津市
株式会社 BLUABLE
東北大学 COI-NEXT ネイチャーポジティブ発展社会実現拠点
合同会社シーベジタブル
株式会社シンク・ネイチャー
株式会社みずほ銀行
みずほリサーチ&テクノロジーズ株式会社
株式会社みずほフィナンシャルグループ

「唐津ネイチャーファイナンス研究会」の設立 **～自然資本の増進を図る「ネイチャークレジット」の社会実装にむけた実証研究を開始～**

佐賀県唐津市（市長：峰達郎）と株式会社みずほフィナンシャルグループ（執行役社長：木原正裕）は、自然資本の増進を図る新たな金融メカニズムである「ネイチャークレジット」の社会実装にむけ、共同で「唐津ネイチャーファイナンス研究会」を立ち上げました。

本研究会は、自然資本の増進と地域経済の成長を両立させる新たな金融メカニズムの構築を目指すもので、富士通株式会社、株式会社 BLUABLE、日本生命保険相互会社、東北大学 COI-NEXT ネイチャーポジティブ発展社会実現拠点、合同会社シーベジタブル、株式会社シンク・ネイチャーをはじめとする多様な企業・団体が参画します。唐津市が有する豊かな自然を実証フィールドとし、「ネイチャークレジット」の社会実装に向けた具体的な方策を探索してまいります。

2022 年、COP15（第 15 回生物多様性条約締約国会議）で採択された「昆明・モントリオール生物多様性枠組」では、2030 年までの目標の一つであるターゲット 19 において生物多様性クレジットを生物多様性の保全・回復のための資金調達手段の一つとして位置づけています。

各国政府が生物多様性クレジット制度の開発を進めており、イギリスの「生物多様性ネットゲイン（BNG：Biodiversity Net Gain）」、フランスの「補償・修復・再生のための自然サイト（SNCR：Sites naturels de compensation, restauration et renaturation）」が 2024 年から、オーストラリアの「Nature Repair Market」が 2025 年から本格的に制度運用を開始しています。

国内においても、環境省が 2025 年 9 月から将来的な生物多様性クレジットの導入を見据えた調査・検討を実施しており「ネイチャークレジット」が注目されています。

本研究会は、こうした国内外の潮流を捉え、以下のテーマを探索することで、日本におけるネイチャーポジティブ実現のモデルケースを構築することを目指します。

【主な検証テーマ】

1. 「地域経済の成長」と「自然資本の増進」の両立

自然保護活動がコストではなく、新たな産業創出や観光振興、ブランド価値向上といった、持続可能な地域経済の成長エンジンとなるビジネスモデルを探索します。

2. ネイチャーポジティブを実現する多様なファイナンスのあり方

生物多様性クレジットをはじめとした、企業の事業活動や地域全体の発展に貢献する、より広範なネイチャーポジティブ・ファイナンスの可能性を追求します。

3. 「地域」と「企業」双方に裨益するクレジット制度の探求

地域の自然を守る活動が、企業のサプライチェーンにおける自然関連リスクの低減や企業価値向上にどのように貢献できるかを検証します。これにより、地域と企業の双方にメリットをもたらす、生物多様性クレジットのあり方を模索します。

4. 流域全体（陸・川・海）での自然資本活用・保全モデルの構築

森・川・里・海が密接に関連する唐津市の地理的特徴を最大限に活かし、陸から海に至る流域全体の生態系サービスを統合的に評価・保全する、先進的な地域モデルの構築に挑戦します。

気候変動、資源循環、自然資本・生物多様性といった環境課題は互いに影響しあい、単独では解決できない複雑性を抱えています。そのなかで、生命の源である「水」は、森から川、そして海へと、さらに大気や土壌、産業や都市、人々の生活へとめぐる循環を通じて多様な領域を有機的につなぎ、環境と社会・経済の基盤を支える大きな役割を果たしています。

〈みずほ〉は、この「水がつなぐ世界」への取り組みこそが、気候変動をはじめとする社会課題解決と経済成長の両立を実現し、かけがえのない青い地球を次世代へつなぐ鍵になると考えています。

唐津市は、ネイチャーポジティブ宣言から約1年を迎え、自然環境の保全と地域経済の成長を同時に進める取り組みを、本格的な実装段階へと進めています。今後も、官・民・学の連携をさらに深化させ、自然と経済のどちらも妥協しない地域づくりを、全国に示す先進モデルとして推進してまいります。

今回の連携を通じて、〈みずほ〉は唐津市および参画企業の皆さまとともに、自然と産業が調和する持続的未來に向け、新たなネイチャーファイナンスの創出へと挑戦を続けてまいります。

【各社コメント】

➤ 富士通株式会社 富士通研究所

研究会を主導される唐津市様、みずほ様、ならびに参画企業・団体との協働を通じ、ネイチャークレジットの社会実装の推進に取り組んでまいります。富士通の海洋デジタルツインにより、藻場などの生態量やCO₂吸収量を迅速・高精度に定量化することで、自然資本の「見える化」と意思決定を支援し、持続可能な金融メカニズムの構築に貢献します。

➤ 株式会社 BLUABLE

BLUABLE は、藻場造成やブルーカーボンの実証を通じて、自然資本を「守る対象」から「育て、価値を生む基盤」へと転換する取り組みを進めてきました。本研究会への参画を通じて、「ネイチャークレジット」の具体化に貢献していきたいと考えています。

➤ 日本生命保険相互会社

唐津市さまのネイチャーポジティブの実現に、微力ながら貢献したいと考えています。主に自然関連のクレジットの組成等に貢献したいと考えています。

➤ 東北大学 COI-NEXT ネイチャーポジティブ発展社会実現拠点

本研究会は、流域全体を一つのシステムとして捉え、科学的知見とデータに基づき自然資本の価値を可視化し、金融や地域経済へとつなぐ先進的な挑戦です。多様な知を創出・統合する大学の中立的立場を活かし、金融・企業・地域をつなぐネイチャーポジティブの社会実装に貢献していきます。

➤ 合同会社シーベジタブル

シーベジタブルは海藻の研究・生産・加工・料理開発までを行っており、全国各地で海藻の海面栽培を展開していますが、この取り組みを通じて生物多様性などの価値の定量化につなげられたらと考えています。

➤ 株式会社シンク・ネイチャー

自然の価値が正当に評価され、投資につながるためには、信頼性の高い評価フレームに基づく実効性のあるネイチャークレジットの仕組みを構築することが重要です。今回の先駆的な取組において、弊社が有する科学的知見およびデータを活かし、その構築に貢献していきたいと考えています。

以 上